



あたらしく、知多らしく。

梅香る わたしたちの緑園都市

令和6年7月11日（木）
知多市報道発表資料

秘書広報課

担当：広報チーム 古田

(0562-36-2642)

アオノリュウゼツランが開花

市役所南側の緑地に植えられたアオノリュウゼツランが開花しました。5月15日ごろから目立って花茎が伸び出し、現在高さは9メートルほどで、黄色い花が咲きはじめました。開花期間は短く、1～2週間ほどいわれています。

1 リュウゼツランの開花

リュウゼツランは、開花期になると、下の葉が枯れ始め、花茎は急成長する。市役所の敷地に植えられたアオノリュウゼツランも5月15日ごろから目立って花茎が伸び出した。1日に10cmほど成長し、約9mの高さ（市役所の3階に届くぐらい）になって止まった。

成長に伴って花茎から枝が伸び、その先端にたくさんの筒状の蕾をつけた。蕾がだんだんと黄色くなって、一番下の枝で筒状の黄色い花が咲いた。開花期間は短く、1～2週間ほどいわれている。

花は先端の数個だけが結実し、その後株は枯れてしまうという。種子による繁殖以外にも、茎の根元から新しい株が密生するなどして増殖する。



2 市役所にあるアオノリュウゼツラン

平成18年ごろ、知多市にある出光興産（株）愛知製油所（昭和50年操業開始）の敷地内でアオノリュウゼツランが開花した。これまでに敷地内で開花したことはなく、非常に珍しいとのことだった。

詳細は残っていないが、そこから出た株が市に鉢植えで寄贈され、それを市役所南側の緑地に植えたものと思われる。寄贈を受けたのが平成19年だったとすれば、17年ほど経っていることとなる。



▲ 7月11日時点のアオノリュウゼツラン